

## 1. なぜ学習するのだろうか。

学習することで、将来の可能性が広がっていきます。その幅が広く、深いほど、将来やりたい事がスムーズに運ぶようになります。たとえば、日本語だけしか知らなければ国内で仕事をするしか選択肢はありませんが、英語も知っていれば、フィールドは世界に広がります。全ての教科に同じことが言えます。

でも「英語を知っている」だけでは使い物になりません。その使い方をも勉強して始めて最大限に有効活用できるのです。ハサミが使えても、使わなかったら、無いのと同じということです。



## 2. まずは、やってみよう。

小さくてもいいから目標を持ち、それに向かってやってみよう。その成果は必ず出てきます。一つ達成できたら、また、次の目標をもってやってみようというように一つ一つクリアしていくことが大切です。それが満足できるクリアーでなくてもいいのです。まずは、やってみること。クリアーしていくことでだんだんと質の高いクリアーとなっていきます。そして、それが自信となってさらに高い目標に向かうエネルギーとなります。

## 3. 小学校と中学校での学習の違い

小学校までの学習と中学校での学習の違い、それは学習内容が高度になるというだけでなく、学習に取り組む姿勢そのものの違いと言っていいでしょう。先生や両親に「勉強しなさい！」と言われて仕方なくやっているだけでは、本当の学力は身につけません。中学生になれば、自分の目標に向けて、自分にあった計画を立て、自分で実行していく力が必要になります。中学校の1・2年生のうちに自主学習の態度をしっかり身につけることが大切です。

## 4. 毎日の学習のしかた

各教科の学習のしかたをよく読んで、自分に合った学習方法を早く見つけよう。

小さくてもいいから目標を持ち、それに向かってやってみよう。その成果は必ず出てきます。一つ達成できたら、また、次の目標をもってやってみようというように一つ一つクリアーしていくことが大切です。それが満足できるクリアーでなくてもいいのです。まずは、やってみること。クリアーしていくことでだんだんと質の高いクリアーとなっていきます。そして、それが自信となってさらに高い目標に向かうエネルギーとなります。